

相鉄瓦版 293

2025.10

特集 夜に働く



駅名標

Vol. ③

ホームの駅名標からは、各時代の雰囲気がうかがわれます。



1960年代 | 二俣川駅



1966年 | 大塚本町駅
(現さがみ野駅)



1982年 | 星川駅



1999年 | 瀬谷駅

相鉄「もの」物語

日ごろ鉄道やバスを利用する際に目にしたり触れたりしている「もの」。機器や設備などのかつての姿を写真で振り返ります。

個人情報の取り扱いについて

- ①お客様の個人情報は、相鉄瓦版の制作に関する使用目的以外に使用することはありません。
- ②お客様の個人情報は厳正に管理し、個人情報保護法に定める個人情報取扱事業者として適正に取り扱います。
- ③お客様の個人情報の取り扱いについては下記URLをご参照ください。
<https://www.sotetsu.co.jp/privacy-policy/>

相鉄瓦版は、相鉄グループのウェブサイトでもご覧いただけます。
<https://www.sotetsu.co.jp/kawaraban/default.htm>

2025年10月1日

発行：相鉄ホールディングス(株)
横浜市西区北幸二丁目9番14号

相鉄お客様センター TEL.045 (319) 2111
[平日9:00～19:00 土休日9:00～17:00]
※営業時間を変更する場合があります。

特集

夜に働く

「草木も眠る」といわれる真夜中。多くの人がすやすやと寝息を立てている時間に、むしろ仕事のピークタイムを迎え、忙しく立ち働いている方々があります。その夜勤が必要とされる背景、深夜の仕事ならではのやりがいや苦労とは——。日ごろ、なかなか目にする機会のない夜に働く方々のもとを訪ね、知られざる深夜の仕事の実情を伺いました。

特集 夜に働く

4 「鉄道の地下化」という仕事

相模鉄道 建設課 木内 蔵

15 「ラジオ深夜便」のアンカーの願い

アナウンサー 須磨佳津江

26 「119番通報」の最前線

横浜市消防局 警防部 司令課 矢口勝浩 山本香織

連載

38 沿線オススメ店 いずみ野駅

●お菓子とコーヒー 白塘~Shiroki~

42 そうてつインフォメーション

●ひと、まち、未来のために
●ニュース

49 時短でカンタン 地産地消レシピ

52 沿線トピックス

●ズーラシア

54 相鉄線沿線

花と緑さんぽ

56 相鉄「もの」物語

表紙イラスト/サタケジュンスケ

本誌で掲載された情報は一部を除き2025年9月9日現在のものです。
情報内容は変更される場合がありますので、ご了承ください。
本誌に記載の価格は全て消費税込みです。

●次号（第294号・2026年2月1日発行予定）は、「ズーラシア」について特集します。なお、発行時期、または掲載内容が変更となる場合があります。



「鉄道の地下化」 という仕事

相模鉄道 建設課 木内 蔵

特集
夜に働く

西谷駅～二俣川駅間の約2・8キロメートルを地下化する「相模鉄道本線（鶴ヶ峰駅付近）連続立体交差事業」。立体交差化によって計10力所の踏切をなくし、周辺の交通を円滑化させるとともに都市機能の充実を図ることを目的とした横浜市の都市計画事業です。2022年度上期から事業が始まり、2033年度の事業完了を目指して工事が進められています。この連続立体交差事業に携わる相模鉄道の木内蔵（木内蔵さん）さんに、主に夜間に行われている工事などについてお話を伺いました。

夜の限られた時間内に行われる工事

私の担当は、工事の進捗管理をはじめとした施工管理全般です。勤務シフトは一般的な仕事と同じで、月曜から金曜までの日中に働いていますが、週に1回程度は日中の業務終了後に仮眠を取って夜間の工事に立ち会います。立ち会い後は仮眠を取ってそのまま日中業務にあたることもあれば、非番になることもあります。

この連続立体交差事業では、今ある線路の下に新たにトンネルを掘り進める工事を行っています。列車が運行していない終電から始発までの夜間にのみ行う作業がたくさんあるため、工事現場を防音壁で覆ったり低騒音の重機を使用したりといった配慮をしながら日々工事を進めています。

線路に接触するような工事を行った際は、レールのゆがみが基準値を超えていないか、最後に必ず点検を行います。また、線路の切り替えなどの大規模な工事の後には、レールの点検だけでなく列車の試運転を実施し、運行に支

障がないかを確認することもあります。当然、そうした点検も始発列車の前に終えなければなりませんので、工事をを行う時間が限られてしまいます。

終電以降の夜間でも回送列車などが通ることがあります。そのため、工事を行う時間帯は全ての列車の運行を止める線路閉鎖という措置を取ります。このような、線路の点検のための試運転列車運行の依頼や工事のための線路閉鎖の措置後の施工管理は、私の仕事の管轄です。

さまざまな条件下で進める基礎づくり

ただ単に線路の下を掘り進めるだけでは、周辺の土砂が崩れてきたり、線路そのものが沈下したりしてしまいます。そこで、一部においては掘削した



場所の土砂が崩れるのを防ぐための土留めと呼ばれる壁を土の中につくったり、線路を支える工事桁を設置したりといった工事をしています。いわば、仮設の橋をつくって線路を支え、その橋の下に新しいトンネルをつくる、といったイメージです。その仮設の工事を終われば、線路に影響を及ぼすような工事も少なくなります。そうになると、夜間に限らず日中でも工事を進めることができるようになります。

— 現在はまだ土留めや工事桁な

どの工事を進めている段階です。一晩で4時間程度しか工事ができない上、クレーンなどの大型重機を使用できない狭い箇所も少なくありません。場所によっては、1カ所の土留めをつくり終えるのに3週間程度かかることもあります。

この連続立体交差事業の工事が完了すると、西谷駅と鶴ヶ峰駅の中間付近で列車がトンネルに入り、二俣川駅の手前で再び地上に出るようになります。現在、西谷方面のトンネルの入り



シールドマシンを発進させる坑道をつくるための基礎工事の様子。終電後にいったん線路を取り外し、土留めの工事を実施した



2024年6月に行われた線路の切り替え作業の様子。機械による施工が難しい場所だったこともあり、総勢約170人による人力で作業が行われた

口付近では工事桁などの工事が進んでいます。このまま順調に進めば、来年度にはトンネルの入り口付近からシルドマシンによる掘削工事がスタートする予定です。まだ土留めなどの工事が終わっていない場所も少なくありませんが、今年度から2029年度にかけて土木工事は最盛期となります。

モニターのチェックと自転車での巡回

約2.8キロメートルの工事区間は、大きく3つの工区に分かれています。西谷駅と鶴ヶ峰駅の間から（鶴ヶ峰駅周辺を除く）旭警察署付近までが1工区、鶴ヶ峰駅周辺が2工区、旭警察署付近から二俣川駅の手前までが3工区です。私の担当は3工区ですが、夜間の工事に立ち会う責任者は基本的に1日につき一人のため、私と同じ立場の者が持ち回りで夜勤を担当し、1・2・3工区全ての確認を行います。

各工区の現場には、リアルタイムで現場の状況が確認できるように複数台のカメラを設置してあります。また、夜間工事の際は、建設会社の責任者にウエアラブルカメラを身に付けてもらいます。そのため、連立工事事務所しながら、1・2・3工区で当夜行われている工事の状況を一望することができます。しかし、カメラの視野が限られていることや現場に立たなければ見えないことや学べないこともあり、実際の工事を担当している施工会社の方々とコミュニケーションをとることもできるため、工事現場に足を運ぶことも多いです。夜間は自転車で各工区を移動しますが、一晩で西谷駅から二俣川駅までの工事区間を往復することもあります。

現場に足を運んでも当然見ることができるとは1つの工区です。他の工区が気になった際は現場からタブレットで別の工区の映像をチェックします。工事事務所にいれば全ての工区の様子をモニターで確認できるので、その方が効率の良いのかもしれない。しかし、工事現場に向いて自分の目で進捗状況などを確認することは、



工事事務所のモニターで各工区の現場の様子をチェックする木内さん

現場の細かな部分の状況を確認する上で大切であり、何よりこの事業に携わっているという実感を得ることができません。傍からは落ち着きがないように見えるかもしれませんが、私には深夜の進捗状況の確認が不可欠なのです。

落ち着かない夜を重ねながら

先述したように、私の勤務は日中が基本で、夜間の工事の監督を担当するのは週に1回ほどです。その際は、日中の仕事を終えたら、夕方から数時間仮眠を取ります。変則的ですが、すでにこうした勤務シフトに慣れているので、寝付けなくて困るといったことはありません。一方、いくら経験を重ねても慣れないのが、夜間の工事に立ち会うことそのものです。

当然ですが、夜の工事は始発列車が運行する時間までに終えます。レールの点検や試運転列車による確認も、工事に使用した重機や工具の撤収も、つづがなく線路閉鎖の時間内に完了しなければなりません。決められた時間内に当夜の工事が終わらず、始発列車を遅らせるような事態になったことは、

今まで一度もありません。それでも、工事に立ち会っている際、ふと「今日は間に合わないのではないか」と不安に駆られることがあります。

規模が大きく、関わる人数も多い工事を行う際は、事前に分刻みのスケジュールを作成して臨みます。全ての作業がスケジュールどおりに進むとは限らず、数分程度のズレが発生することは珍しくありません。もちろん、そうした数分程度のズレも想定した上でスケジュールを組んではいますが、それでも実際の工事の進捗状況とスケジュール表を交互に見ながら、今夜こそ遅れるのでは……と気をもんでしまいます。

「これまでも問題なかったし、今夜も無事に終えられるはず」。そう考えようとしても、不安が押し寄せ、そわそわと落ち着かない気持ちになることがあります。そして、作業後の確認をしっかりと行つた後、無事に始発列車が通過し、その後の列車も問題なく運行している様子を目にして、ようやく胸をなで下ろします。夜勤を終え、帰宅する際は、電車に乗りながら人知れず安堵感に包まれています。いつか、もっと落ち着いた気持ちで工事に立ち会え

るようになりたいと思いますが、一方で慣れてしまったら良くないという考えもあります。緊張しているからこそ、細かなことにも目を行き届かせ、気を配ることができます。この事業を成し遂げるため、不安や緊張を感じながら工事に立ち会うことが、自分の職責だと考えています。

相模鉄道本線（鶴ヶ峰駅付近）連続立体交差事業の完了は、2033年度の予定です。鉄道が地下化し、周辺のまちが発展する様子を目にしたときに初めて自分の仕事の意義が感じられるのかもしれないかもしれません。それまでは、その日の予定を無事故で時間内に終えるという当たり前のことを着実に積み重ねるため、緊張しながら夜間の工事現場に立ち続けたいと思っています。（談）



●相模鉄道本線
（鶴ヶ峰駅付近）
連続立体交差事業
公式サイト



「ラジオ深夜便」の



アンカーの願い



アナウンサー
須磨佳津江



1990年の番組スタート以来、365日、毎日午後11時過ぎから約6時間の生放送を行っている「ラジオ深夜便」(NHKラジオ第1他)。番組ではパーソナリティーを「アンカー」と呼び、NHKのアナウンサーや以前アナウンサーだった方が務めています。現在のアンカーで最も長く出演し、毎月第2・第4火曜を担当している須磨佳津江さんに、番組への思いなどについて伺いました。

「いつでも寝てください」という気遣い

ラジオの深夜放送は、1960年代から受験生などの若者を中心に人気でした。ただし、それは民放のラジオ局のことで、NHKは長らく深夜放送を行っていませんでした。NHKがラジオの深夜放送を始めるのは、昭和の終わりのことです。昭和天皇がご病気になり、ご容体を伝えるニュースの合間にクラシックなどの静かな音楽を流しました。その放送の反響が大きかったことが、新たな深夜放送の番組を始める端緒となりました。そこで、民放の深夜ラジオと真逆の、大人向けの落ち着いた番組をつくらうと考案されたのが、

「ラジオ深夜便」(以下、「深夜便」)です。

番組を始めるに当たり、幾つかの方針が決まりました。パーソナリティーは、ミュージシャンや芸人ではなく、NHKのアナウンサーのOB、OGを起用すること。番組で流す音楽は、クラシックなどの静かなものに限定すること、などです。現在は歌謡曲も流していますが、番組のスタート当初は歌詞のある楽曲は禁止でした。また、今ほどのアンカーのしゃべりもさほど遅くありませんが、以前はゆっくり話すことが徹底されていました。私が「深夜便」に加わった2003年当時の先輩アンカーの方々は、とてもゆったりと話していました。私自身、プロデューサーから「もっとゆっくり話して」と何度か注意を受けたことがあります。でも、速く話すことと比べ、ゆっくりしゃべることは難しいというか、違和感を覚えます。結局、「深夜便」に合った速度のしゃべりを体得するまでに半年以上かかったかもしれません。

「深夜便」に出演するようになった当初は、しゃべるスピードも速いし、気負いもあったと思います。ついテンポよく話し、リスナーの方から「あなた

は『深夜便』に向いていない」というお便りをいただいたことがありました。一方で、『深夜便』にようこそ」といった歓迎や励ましのお便りもいただきました。「深夜便」では、リスナーの方々に意見を求めたり、お便りを紹介したりといったことを大々的に行っていません。参加型の番組ではないのですが、「自分の番組だ」と思ってくださいているリスナーが多くいるのです。

「深夜便」のアンカーを務めるようになって気付いたことがあります。アウンサーは、視聴者にニュースをお伝えする、情報をお届けする仕事です。でも、「深夜便」のアンカーは単に情報を発信するわけではありません。リスナーの方々に寄り添うようなスタンスが必要だと感じています。リスナーの皆さんは別々の地域に暮らしていますし、顔も分かりません。でも、リスナーの方々は、「深夜便」という番組を通して一緒に夜を過ごす仲間、ファミリイであると、個人的に思っています。リスナーの皆さんからいただくお便りに目を通したりしながら、旅先で眠る前に布団を並べておしゃべりをしているような距離感や関係性だなと感じているのです。

そんな「深夜便」のリスナーとアンカーの関係を象徴していると思う言葉があります。リスナーの方から「先日は放送の途中で寝ちゃいました。ごめんなさい」といったお便りをいただくことがあります。そうした声に対し、私は「どうぞ、いつでも寝てください」と話しています。「眠くなったらお休みなさい」という言葉。これは、私のオリジナルではありません。歴代のアンカーが折に触れて口にしてきたものです。「深夜便」を放送しているのは、文字通り真夜中です。ゆったりしたしゃべりや静かな音楽を耳にして眠くなったとしても、何も不思議ではありません。しかも、どうやら私の声は眠気を誘うらしく、「最後まで聞きたいと思いつつ、いつも途中で寝てしまします」というお便りをいただくこともあります。

もちろん、「深夜便」を聞いたリスナーの心が少しでも豊かになってほしいと思っただけで放送していません。でも、ぐっすり眠るのも大事なことです。リスナーの皆さんが新しい1日を元氣よく迎えられるのであれば、聞いてもいいし、寝てもいい。それが私の正直な思いです。以前、夫から「放送しておきな

ら『寝てください』なんて、変な番組だね」といわれました。冷静に考えると、確かにおかしいのかもしれない。でも、リスナーの皆さんのことを第一に考え、「気兼ねなく、お休みください」といえるのは素晴らしいことではないでしょうか。そんなふうにはリスナーの方々と気の置けない関係を築けているのも、「深夜便」の魅力の一つだと思います。

企画から編集まで行うアンカーの責任

「深夜便」では、ニュースや天気予報を除き、フリートークの部分が多く、何を話すかはアンカーに任されています。例えば音楽を流すときも、曲の前後に歌手や曲の名前だけをさらっと紹介するアンカーもいれば、細かく解説する人もいます。私は後者で、作詞家や作曲家の情報、その歌がヒットした時代背景などを話すようにしています。その際も、年代などの間違えてはいけない情報が記された資料は目の届く範囲に用意しておきますが、トークは即興で進めていきます。

アンカーの裁量に任されているのはトークだけでなく、番組づくりそのものもそうです。アンカーの多くが自ら企画を考えているのです。私は「深夜便」のアンカーになる以前から、「趣味の園芸」というテレビ番組に出演していて、植物の専門家の方々と交流がありました。そこで、「深夜便」でも、花や緑にまつわるインタビューを20年以上にわたって行っています。

本を読むなどして取材したい方の情報を収集し、企画書をまとめ、番組の会議に提案します。了承を得たら、実際に取材をし、インタビューの音源を編集します。企画の考案から編集作業までを、全てアンカーが自分で行っているのです。インタビューしたい方の人となりを知るため、何冊も本を読むことがあります。場合によっては、下調べの段階で連絡して話を伺うこともあります。私が企画している「心に花を咲かせて」というコーナーは正味40分ほどですが、インタビューが1時間半以上に及ぶこともあり、編集に何日もかかることも珍しくありません。私が「深夜便」に出演しているのは月に2回です。そのため「深夜とはいえ、月に2日しか働いていないの？」など

と聞かれることがあります。でも、実際は1カ月のうち、かなりの時間を「深夜便」のために費やしているのです。

「心に花を咲かせて」というコーナーは園芸の専門家へのインタビューですが、花の育て方などを伺うわけではありません。深夜放送で栽培方法などをこまごまと説明しても、リスナーの方には煩わしいだけだと思います。そうではなく、植物の専門家の人間性にスポットを当てたインタビューを行っています。長年、園芸家の方々と接してきて感じるのには、どなたも例外なく謙虚だということです。植物は太陽や大地の力によって大きく育ち、花を咲かせます。自然の偉大さを身をもつてご存じだからこそ、植物の専門家の方々は大家と呼ばれるようになって腰が低いままなのだと思います。

園芸家の方々の言葉はさりげない平易なものながら、含蓄のあるものが少なくありません。特に深夜は、大仰な言葉を疎ましく感じる人もいます。でも、植物の専門家の方の経験に裏打ちされた言葉であれば、リスナーの皆さんの心にすっと染み入るかもしれない。そんなことを考えて「心に花を咲かせて」というコーナーを続けています。

「明けない夜はありません」という望み

「深夜便」は午前5時で終了ですが、私は番組の最後にスタジオの窓から見える外の様子を話すことがあります。暑い季節であれば、NHKに隣接する公園の生い茂った緑についてしゃべったり。あるとき、こんな話をしました。「時刻は間もなく4時56分になるところです。まだ暗い時間が続きますが、明けない夜はありません。必ず夜が明け、明るいときを迎え……」というものです。私としては、その場限りのトークだと思っていました。でも、その後「明けない夜はありません」という言葉をまたいつてほしい」というお便りが何通も届きました。そこで、多少アレンジをしながらも、番組の最後に「明けない夜はありません」という言葉を発することが定例になったのです。

以前、番組の終わりに「につこり笑って、今日1日を笑顔でお過ごしください」といいました。すると、「みんなが笑顔になれるわけじゃない」という

お便りを頂戴しました。「楽しいから笑うのではなく、笑うから幸せになれる」ともいわれます。大変なときでも、笑うことで状況が少しは上向くかもしれないですね。そういったことも考え合わせ、「今日1日を笑顔でお過ごしください」といったつもりでした。でも、その言葉を押し付けがましいと感じるリスナーの方もいるのだと反省しました。

「深夜便」のアンカーとなり、多くのリスナーの皆さんと交流する中で、あらためて感じたことがあります。それは、夜の過ごし方は人それぞれ、という当たり前のことです。「深夜便」を聞きながら眠りに就く人もいれば、「深夜便」とともに新しい1日を始める人もいます。番組の前半だけ、あるいは後半だけ聞く人もいますし、「深夜便」の開始前に仮眠を取り、聞き終わったら5時に再び就寝するという人もいます。お便りをくださるリスナーの中には、タクシーやトラックの運転手をはじめ、夜通し働いていらつしやる方もいます。それぞれが置かれている状況や抱えている事情、心模様などは、さまざまです。そんなバラバラな人たちの明確な共通点が、「深夜便」のリスナーであるということです。そして、私にとって「深夜便」のリスナーの皆さんは、一緒に夜を過ごすファミリーです。

同じ言葉を耳にして、心が軽くなる人もいれば、気に障る人もいるかもしれません。不愉快に思われたら申し訳ありませんが、「うるさい」家族「だな」と大目に見ていただけるとありがたいです。ともかく、ファミリーである「深夜便」のリスナーの皆さんの新しい1日が少しでも明るくなることを心から願っています。そんな希望を込めて、これからも夜が明ける時間に「明けないう夜はありません」という言葉を発し続けたいと思っています。(談)



すまかつえ ● 大学卒業後、NHKにアナウンサーとして入局。1976年にフリーになって以降もNHKを中心に番組キャスターを務める。1994年から「趣味の園芸」を11年間担当。2003年から「ラジオ深夜便」のアンカーを務め、現在は第2・第4火曜を担当している。著書に『心に花を咲かせて』(NHK出版)、『花が好き！自然が好き！』(NHKサービスマン)など。

「ラジオ深夜便」は、NHKラジオ第1にて365日休まず午後11時5分から約6時間の生放送を行っています。各曜日の企画などの詳細や聴き逃し配信は、番組公式サイト <https://www.nhk.jp/p/shinyabn/rs/v34xv71r2/> を。

「119番通報」の最前線

横浜市消防局
警防部司令課

矢口勝浩 山本香織

特集
夜に働く



24時間、365日、市内全域からの119番通報を受け付ける横浜市消防局の司令センター。119番通報に対応し、消防車や救急車を出発させたり通報者に指示を伝えたりしているのが「ディスプレイパッチャー」（指令管制員）です。ともにディスプレイパッチャーになって2年目という矢口勝浩さんと山本香織さんに、仕事の流れや夜勤の大変さなどについて伺いました。

真夜中でも静寂とは無縁の場所

山本 ディスプレイパッチャーの勤務体系は、朝から翌朝までの当直勤務、当直明けの非番日、週休、という3日ごとのサイクルを繰り返します。司令センターで119番通報の対応に当たることを「台に入る」といいます。日中の勤務で台に入るのは約15人です。そのうち、およそ半数が実際に119番通報の受け答えをし、残り半数がバックアップをします。例えばマンションの部屋番号が、ディスプレイパッチャーには「101号」と聞こえ、バックアップの者には「1015」と聞こえたとします。そうした際はバックアップの者から再

確認の指示が出ます。通報者の方の多くは、落ち着いて状況や症状を説明することが難しい状態です。だからこそ、私たちも聞き間違いや入力ミスがないように二重三重にチェックしています。

矢口 日中は、台に入ることと事務時間を1時間ごとに繰り返します。事務時間の際も、119番通報が多くなつた場合は、応援で台に入らないといけないため、緊張を保たなければなりません。また、22時から翌朝6時までは台に入る人数が少なくなります。0時から翌朝6時までのデイスパッチャーは3人です。そして、全体を統括する立場の1人とバックアップ担当の2人、計3人がデイスパッチャーをサポートします。22時から翌朝6時までのうち、2時間は台に入り、残りの時間は休憩や仮眠を取ります。深夜の休憩時も無線などの対応を行いますし、大きな災害が発生した際は仮眠も中断します。

山本 横浜市の司令センターが受ける119番通報は年間約37万件で、1日あたり1000件超です。しかも、司令センターではさまざまな無線が流れますし、市内の各消防署などからの問い合わせもあります。救急車が搬送を終えたら、必ず司令センターに報告する決まりもあります。もちろん、119番通報が少ない日はあります。それでも、どんな真夜中でも、司令センターが完全な静寂に包まれることは2、3分しかないと思います。

気持ちを切り替え、眠るための決まり

矢口 デイスパッチャーは、庁舎内に個室が与えられています。深夜に仮眠を取る際は、その個室を利用します。ただ、私はどんなに心労がたまついても、体力的に疲れていないと、スムーズに寝つくことができません。救急や消防で現場に出ているときは体を動かしましたが、デイスパッチャーは基本的にデスクワークです。そこで、デイスパッチャーになってからは、日中の休憩時間や事務時間に階段の出っ張り部分を利用して懸垂などを行っています。今年度からは庁舎内にトレーニングルームができたので、休憩時間や事務時間に軽く体を動かしてから寢床に就くようにしています。もともと、私は当直中はそれほど睡眠時間が確保できなくても問題はありません。その

代わり、当直であり睡眠時間が確保できなかった場合は、帰宅後に30分程度の仮眠を取ります。あるいは、仮眠を取らず、家族と過ごすなどして夜を迎えることもあります。

山本 私は、毎日8時間の睡眠が必要です。8時30分に当直勤務を終えて帰宅したら、遮光カーテンをしつかり閉めて仮眠では足りない分の睡眠を取ります。ただし、横になればすぐに眠れるわけではありません。ディスプレイパッチャーとして台に入っているときは、目の前に4つのモニターがあります。いざ眠ろうと思つて目をつむつても、モニターの残像がなかなか消えません。そこで、ホットアイマスクをつけて目の疲れを取りつつ、就寝するようにしています。

夜間に通報者から住所を聞き出す苦勞

矢口 119番通報を受けたら、まず火事か救急かを確認します。次に、消防車や救急車を向かわせるため、その現場の住所の特定を急ぎます。ディスプレイパッチャーが向き合っているモニターでは、通報元の発信位置の情報を地図上で表示することができます。ただ、固定電話であればかなり正確に場所を特定できますが、携帯電話は通信会社や機種によって誤差が生じることも珍しくありません。中には「いちいちいわなくても、住所は携帯電話のGPS機能で分かるでしょ」とおっしゃる方もいますが、正確な住所を特定するために必ず通報者の方から教えていただく必要があるんです。

山本 通報者の方が住所をいえない場合、目に付く範囲に表札や電柱の看板があり、そこに住所の記載があれば読み上げてもらいます。でも、最近では表札を出していない住宅も増えていきますし、特に夜間だとそういった文字情報も認識しづらくなります。住所を尋ねても、「暗くて何も分かりません」と



横浜市消防局の庁舎内にあるディスプレイパッチャーの個室（左）とトレーニングルーム（右）

繰り返す方も少なくありません。そういった際は、いったん大きな通りに出て、信号機やバス停、コンビニなど住所の特定につながるものがないか探してもらいます。また、場合によっては近隣の住宅のインターホンを鳴らして住所を確認してもらうこともあります。

矢口 場所を特定して住所を入力すると、現場に一番近い出場可能な消防隊や救急隊が選別されるシステムが構築されています。救急隊に出場指令を出した後に、あらためてどなたがどういった症状な

のかを聞き出します。それによって、必要であれば心肺蘇生法や止血などの応急処置を通報者の方に伝えるとともに、現場に向かっている救急隊にも情報を共有します。

そういったやり取りを済ませて通話を終えようとすると、通報者の方から「救急車のサイレンを鳴らさないでほしい」といわれることもあります。サイレンを鳴らすのは、ケガや病気の緊急度が高く、救急隊を一刻も早く現場に到着させるために必要なものです。そう説明するのですが、救急車を呼んだことを近所に知られたくない、とおっしゃるんです。特に夜間は、近隣に迷惑をかけたくないからサイレンを控えてほしい、と頼まれることもあります。

多様な119番通報と向き合う心構え

矢口 夜に多くなる119番通報に飲酒関連があります。「道端に酔いつぶれて倒れている人がいます」といった通報で、具体的な統計はありませんが、金曜の夜に多くなる印象です。また、通報者の方が酔っていて、要領を得な



(大写真) 司令センター。(小写真) ディスパッチャーの前に設置されたモニター。通報者の位置情報を表示する地図を確認したり、ケガや病気の聴取内容を入力したり、出場可能な部隊と連絡したりといった操作や入力を行う



い答えしか得られずに困ることもあります。通報者の方が酔っていたり、単に混乱したり慌てたりしていて住所の特定に時間がかかり、それでいて緊急度が高い事態だと判断した際には、ひとまず救急隊を出場させることもあります。そのような場合は、現場に向かう救急隊に通報者の方の電話番号を伝え、要請者と接触できなかった際に救急隊から連絡を入れてもらうこともあります。

山本 119番通報に迅速に対応するのは当然といえば当然ですが、先述したように特に深夜はディスプレイパッチャーの人数が限られているという事情もあります。でも、だからといって何でもかんでもスピーディーに対応すれば良い、というわけではありません。

例えば、夜間に多いのですが、悩みや葛藤を抱えた方から「話を聞いてほしい」という通報を受けることがあります。そういった方には、最終的には適切な相談窓口を案内します。でも、「実は悩んでいて……」といわれて、すぐ事務的に相談窓口を伝えるわけではありません。通報者の方に寄り添い、

それなりの時間を費やして話に耳を傾けることもあります。一般的な119番通報でも同じですが、一律で「こうすればいい」という対応はありません。強い調子で励ますこともあれば、柔軟に言葉をやり取りすることもあります。自身は、そういった臨機応変の対応がまだできていないと日々痛感しています。

矢口 ディスパッチャーになって1カ月たらないぐらいの時期に、高層階の自宅から飛び降りるという通報を受けたことがあります。最終的には救急隊と警察官を出場させて事なきを得ましたが、そこに至るまでに通報者の方と1時間近く通話をしました。異動から日が浅い新人とはいえ、ディスプレイパッチャーは1件1件の119番通



ともにディスプレイパッチャーとなつて2年目だが、今も「台に入る」際には一定の緊張や怖さを感じるという矢口さん（右）と山本さん（左）

報に迅速な対応をしなければならぬことは理解していました。ただ、通報者の方が直面している事態を解決して命を救うことが、デイスパッチャーの何よりの使命です。場合によってはじっくり時間をかけ、丁寧に言葉を重ねていくことが必要だと思っております。

山本もいったように、デイスパッチャーの対応には明快な一つの正解などありません。どんなに慌てていても落ち着いて優しく話しかけることが必要な場面もあれば、叱咤^{し.た}するように強く言葉を伝えることもあります。また、通話を終えてから、「あの言葉で良かったのか」「別の表現はなかったのか」と反省することもあります。まだまだ勉強中ですが、一つ一つの仕事を着実に積み重ねていくしかないと感じています。

山本 私も矢口も横浜市消防局の職員として15年以上のキャリアがあり、さまざまな現場を経験しています。しかし、デイスパッチャーは消防隊員や救急隊員とは全く異なる能力が必要で、その最たるものがコミュニケーションだと感じています。対面であれば表情や仕草から相手の心情を推察できます

が、119番通報では音声から判断するしかありません。一方で、少しでも通報者の方に安心してほしいと考えて、私も声色や抑揚に変化をつけるなどの工夫を重ねています。ただし、相手の顔が分からない状況での手探りですし、いつも試行錯誤の連続です。

それでも、1件1件の119番通報に誠実に対応し、少しずつでも着実に成長していきたいと思っています。これからも、助けを必要とする声にしっかり応え、デイスパッチャーの務めを果たしていきます。



現在、横浜市消防局 司令センターにかかってくる119番通報のうち、約2割は問い合わせや間違い電話など緊急性が低いものです。急な病気やケガをして、「救急車を呼んだ方が良いのか」「今すぐ病院に行った方が良いのか」などと迷った際は、**かながわ救急相談センター #7119** に電話してください。看護師が病院受診の必要の有無や受診できる病院を案内してくれます。



コーヒーは注文を受けてから ウッドフェンスが目印



沖田里那子さんと沖田悠也さん



ペット連れOKのテラス席

み野生生まれのいずみ野育ち。ともに店を経営する沖田悠也さんとは製菓学校の同級生で、卒業後は東京・上野のケーキ店で働き、カフェのプロデュースをするなど、さまざまな経験を積みみました。ただし、上野は観光地ということもあり、もう少し顧客との距離が近い仕事をしたいと考えるようになります。しばらく他の店で腕を磨こうかと思っていたとき、里那子さんの父親がいずみ野駅近くの店舗物件を見つけてきました。それがこの店です。

「いつかは自分の店を構えたいと思っていて、予定より少し時期は早まりましたが、出店の決心をしました。ここは住宅街にあるので、お客さまの声にも耳を傾けながら、自分たちが納得のいくお菓子がつくれると思えました。その上、このあたり



お菓子とコーヒー 白嬉～shiroki～

沖田里那子さん、沖田悠也さん

お店の歴史や店主の来歴、看板メニューに込められた思い……。このコーナーでは、相鉄線沿線のお店の気になるあれこれを深掘りして紹介します。

いずみ野線いずみ野駅北口から歩いて約4分。いずみ野団地5号棟前の信号を左折してすぐの場所にあるのが、「お菓子とコーヒー 白嬉（shiroki）」です。ウッドフェンスと白い壁が目印の店のオープンンは2023年7月。季節のフルーツを使ったケーキや瓶入りのパンナコッタ、カヌレや焼き菓子などは、全て2人のオーナーパティシエの手づくりです。テイクアウトはもちろん、店内やペット連れOKのテラス席でコーヒーとともに味わうことができます。

オーナーの沖田里那子さんはいず



お菓子とコーヒー 白嬉~shiroki~

横浜市泉区和泉町6224

◎10:00~17:00

☎水・木曜

https://www.instagram.com/shiroki_cafe/

※電話はありません



あることを生かして、より地産地消で地元密着型の店にしたいと考えています」と悠也さんは語ります。続けて、里那子さんも言葉を重ねます。「どうやったからお客さまに喜んでもらえるかを考え、日々成長しながらお菓子をつくっていききたいですね」

おいしいケーキを食べたいと思うたときを選んでもらえる店や、赤ちゃんを連れてお母さんも安心してくつろげる店にしたい。若い2人のオーナーのたくさんの夢が詰まった店は、これからも進化し続けていきます。

特典

本誌をご提示の上、1,000円(税込み)以上お買い上げのお客さまに、焼き菓子を1個プレゼント。提供は2025年10月末まで(本誌1冊につき1名さまのみ有効)。

※営業時間や定休日などが変更になる場合があります。詳細はお問い合わせください。

読者アンケートのお願い

相鉄瓦版10月号のご感想や今後載せてほしいことなど、みなさまのご意見をぜひお聞かせください。いただいたご意見は今後の企画・編集の参考にさせていただきます。

アンケート期間：10月1日～10月15日

瓦版アンケートフォーム

<https://sotetsu-web.com/enquete/form>



は野菜や果物の生産者さんが多く、直売所もあります。卵も、近くの大矢養鶏さんの新鮮な卵を使っています。以前は気がつかなかったのですが、いずみ野って食材が豊かな場所だったんですね」と里那子さん。

店のイートインスペースではケーキやパンナコッタとともに、いれたてのコーヒーを飲むことができます。コーヒーは悠也さんの担当です。

- ①カヌレ (300円)、②しろきロール (400円)、③ブレンドコーヒー (600円)



瓶入りのパンナコッタは、季節によって果物が変わります。夏季(取材時)にあったのは、左からブルーベリー、メロン、桃(各750円)



「注文をいただいでからハンドリップで1杯ずついれていきます。最近自家焙煎も始めたので、お好みの味のコーヒーをお出しできます。素材の良さを生かして甘さを控えめにした当店のケーキとの相性を楽しんでいただけるとうれしいです」

周囲の人たちに支えられ、開店2周年を迎えられたと語るおふたり。今後の目標については、「いずみ野に



多彩なケーキが並ぶショーケース(2025年7月末撮影。季節で内容は変わります)

ひと、まち、
未来のために

～相鉄グループの取り組み～



「SOTETSU GOODS STORE」 の企画・運営

このコーナーでは、相鉄グループが行っているさまざまな取り組みを紹介します。今回は、「そうにゃん」をはじめ、バスや電車に関するグッズを販売する「SOTETSU GOODS STORE」の企画・運営を行っている、相模鉄道の須藤加奈子さんにお話を伺いました。

お話を伺ったのは



相模鉄道
経営統括部
須藤加奈子

Q

「SOTETSU GOODS STORE」について教えてください。

A

もともとは、2013年に海老名のグッズショップが始まりました。翌年の2014年に、相模鉄道キャラクター「そうにゃん」が活動をスタートしました。そして、2018年にグッズショップが二俣川駅構内に移転しました。当初、ショップで扱っていた商品はキーホルダーやぬいぐるみなどのオーソドックスなもので、種類も多くありませんでした。二俣川への移転以降アイテムの種類が増え、現在は電車関連約100種類・そうにゃん関連約150種類・バス関連約20種類の商品を扱っています。リピーターのお客さまも多く、毎月1点は新商品を出しています。根強い人気なのは、「プラレール」な

Q

グッズの企画はどのように行っているのですか。

A

電車をグッズ化する場合は、デザインをおおそかにしないように配慮しています。電車の愛好家の方は細かい機器や装備などもよく見ているので、多少デフォルメしたグッズであってもできるだけ再現するよう気を配っています。一方で、そうにゃんがモチーフの場合は、より柔軟にアレンジしてグッズ化することが可能です。路線の情報など告知したいことを組み

「SOTETSU GOODS STORE」の
 ここがポイント!

- ☑ デイテールに配慮したグッズの企画
- ☑ お客さまとのコミュニケーションのきっかけ
- ☑ グッズ展開を通じ相模鉄道を知ってもらう

A 今年9月に「SOTETSU GOODS STORE」の売り場を拡張し、リニューアルオープンしました。また、2026年春に運行開始予定の新型車両「13000系」のグッズも次々と登場していますので、ぜひ一度、足を運んでください。

これまで10年以上にわたってグッズを展開してきて、相模鉄道のイメージや認知度が少しずつでも着実にアップしたと思っています。これからも多く

Q 今後の展開や展望について教えてください。



「SOTETSU GOODS STORE」
 TEL.045 (364) 8801
 場所:相鉄線 二俣川駅構内(定期券売り場横)
 営業時間:平日11:00~20:00、
 土・日曜・祝日10:00~19:00
 定休日:水曜、年末年始(12月30日~1月3日)
 ※水曜が祝日の場合は土・日曜・祝日と同様の
 時間で営業

● 相鉄オリジナル
 グッズ公式サイト



込むこともあります。どのグッズでも、どうすればファンの方々に喜んでいただけるかということを第一に考えています。

ものによっては製造に時間がかかる場合もあるので、新商品には販売の半年ほど前から着手します。定例の企画会議も行っていますし、同じチームの

仲間などと雑談をしながら着想を得ることもあります。常に頭の片隅で新商品について考えているのでちよつと大変ですが、アイデアを巡らせることには楽しさを感じています。特に自分が考案したグッズを身に着けている方をイベントなどで見かけると、とてもうれしいです。



▼ そうにゃん つり革
 ラバーキーホルダーし
 ましま Ver. 750 円

▼ そうにゃんもこもこ
 ハンドタオル 650 円



- ① 電車ラバーキーホルダー (12000系) 700円
- ② 相鉄 21000系 アクリル正規 500円
- ③ 13000系 A4 クリアファイル 300円

相鉄Styleeアプリ限定ポイント応援プログラム 商店街のご利用で相鉄ポイントがたまります

相鉄では、ポイント応援プログラムの実証実験第2弾として、地域の商店街で相鉄ポイントをためることができるよう取り組みを実施しています。

相鉄Styleeアプリを利用し、相鉄線沿線にある対象の商店街でお買い物をする、1店舗の利用につき相鉄ポイントを1日2ポイントためることができるよう、2026年3月までを予定しています。

また、日々のお買い物等ためた相鉄ポイントを、応援するプロスポーツチームやNPO法人に贈ることができ、「プロスポーツチームのホーム試合を観戦した際に、相鉄ポイントがたまる実証実験第1弾（2025年4月～2026年3月予定）」も継続して実施

中です。

相鉄ではこうした取り組みを通じ、相鉄線沿線に愛着をもっていたくださとや、地域の活性化を目指していきます。



対象の商店街(かつこ内は最寄り駅)

- ・天王町商店街(天王町駅)
- ・星川商店会(星川駅)
- ・アクティ天王町商店会(天王町駅、星川駅)

相鉄ポイントに関するお問い合わせ先

相鉄ポイントコールセンター(通話料有料)
TEL.0570-030-380(10:00～18:00)

新型車両13000系製造工程を紹介する プロモーション動画を順次公開中

相鉄では、2026年春に営業運転開始予定の新型車両「13000系」の製造工程を紹介するプロモーション動画「SOTETSU 13000 SERIES MANUFACTURING STORIES」を、順次公開しています。

車両の構体組立や塗装、内装など、ふだん目にするの看不い製造工程を撮影し、分かりやすい解説付きで編集。製造から導入まで、新型車両が誕生していく様子をぜひご覧ください。



●「デザインブランドアッププロジェクト」サイト



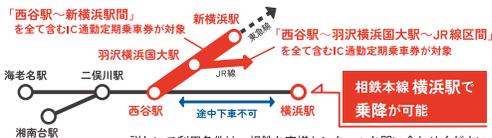
●相模鉄道公式YouTubeチャンネル



YOKOHAMAどっちも定期

相鉄新横浜線「西谷駅～新横浜駅」もしくは「西谷駅～羽沢横浜国大駅～JR線区間」を全て含むIC通勤定期乗車券なら追加運賃の支払いや、特別な申請を行うことなく、相鉄本線横浜駅での乗降が可能です。

通勤にもお買いものにも便利にやん♪



詳しいご利用条件は、相鉄お客様センターへお問い合わせください。
TEL.045-319-2111(平日9:00～19:00、土日9:00～17:00)

海老名駅の中央2階改札口を使用開始・中央1階改札口を移設



駅2階に新設された改札口

相鉄では海老名駅改良工事の進捗に伴い、中央2階改札口を出場専用として使用開始しました。ホームに新設された階段を上ると出場専用の自動改札機5通路があり、小田急線・JR線との乗り換えに便利です（入場でのご利用とエレベーター・エスカレーターの設定は2026年を予定しています）。2023年に使用開始した北口改札口と合わせ、混雑の解消につなげました。

また仮設であった中央1階改札口は小田急・JR連絡通路方へ30メートルほど移設し、自動改札機を9通路設置しました。

2026年度末の完成を目指し、引き続き工事を進めていきます。

Old & New Dream Jazz Orchestra
JAZZ EGGSのボーカル 福山詩織による
スペシャルJAZZライブ!

JAZZ LIVE 2025

チケット発売中!

2025.11.30(日) 14:00

最新の情報は
こちらをクリック

横浜市泉区民文化センター
テアトルフォンテ
(指定管理者:相鉄企業株)
TEL:045-805-4000

時短で カンタン 消費地産 レシピ —— 食材編 ——



豚肉(はまぽーく)

日本の食卓に欠かせない人気食材の「豚肉」。JA 横浜「ハマッツ」直売所には、同JA 養豚部に所属する7戸の農家が生産した高品質な豚肉が並びます。

横浜を代表する「はまぽーく」は、現在2戸の農家が手

がける貴重なブランド豚肉。柔らかな肉質と甘みがある脂身、コクのある味わいが特徴です。

各農家は日々、豚の育成状況や体調の変化に細心の注意を払い、良質な肉を消費者に届けています。

—— 国消国産 ——

JAグループでは、私たちの「国」で「消」費する食べものは、できるだけこの「国」で生「産」する「国消国産」という考え方を提起しています。

お薦めの調理法は、脂の甘みときめ細かい肉質を楽しめる「しゃぶしゃぶ」です。JA直売所には毎週2回ほど入荷しますが、店頭と並ぶとすぐに売り切れることもあるので、早めにお買い求めください。

「ハマッツ」直売所 メルカートかながわ店
店長 齋田 博樹さん



●JA横浜「ハマッツ」直売所 メルカートかながわ店

同店には神奈川県産を中心に、毎日20戸以上の農家が多彩な農産物を出荷しています。10月中旬からは、地域の特産であるキャベツが売り場に並ぶので、ぜひお立ち寄りください。

横浜市神奈川区神大寺2-19-15 TEL.045(481)3913

◎ 8:30 ~ 17:00 ㊤ 毎月第2火曜、年末年始 他

※営業時間や定休日などが変更になる場合があります。

詳細はお問い合わせください。



協力/JA横浜



料理研究家
鈴木佳世子

企業や自治体の料理教室や食育・防災セミナーなどの講演活動、企業のレシピ開発、防災マニュアル開発も行う。JA横浜「クッキングサロン ハマッツ」料理講師、野菜ソムリエ、料理教室「ks-cafe」主宰、(一社)危機管理教育研究所防災クッキングアドバイザー他

「食材編」にあるように、「はまぼーく」は味も肉質も格別です。そんな「はまぼーく」を使った、家庭でも手軽につくれるレシピをご紹介します。



材料 (4人分)

はまぼーく肩ロース肉(ブロック) ……500g
オリーブオイル ……大さじ1
湯 ……適量
④ オレンジマーマレードジャム ……150g
しょうゆ ……大さじ3
おろしニンニク ……小さじ2
粗びき黒こしょう ……適量

つくり方

- ① はまぼーくは、1cmの厚さに切る。
- ② 鍋でオリーブオイルを熱し、①を入れて表面に焼き色が付くまで焼く。
- ③ ②の肉が浸る程度の湯と④を入れ、あくを取りながら中火で煮る(ふたはしない)。
- ④ ③の煮汁にとろみが出たらさらに煮詰め、汁気を少し残して火を止める。

ポイント

- ・ はまぼーくに豊富に含まれるビタミンB1やオレンジマーマレードに含まれるビタミンCは疲労回復や美肌効果、生活習慣病の予防が期待できます。
- ・ ④に八角を加えると甘くスパイシーな香りが広がり、身体を温めて気の巡りを良くするなどの効能も期待できます。

はまぼーくのオレンジ煮

飼育員さんの 動物 日記

担当飼育員 太田真琴さん

ヒガシクロサイのニル(オス・29歳)とアキリ(メス・13歳)を紹介します。

2頭とも泥浴びが大好きです。また、クロサイ全体に見られる行動ですが、排便後に糞を何度か蹴り上げて土と混ぜたりもします。



ヒガシクロサイ の好物

2頭の好物はサツマイモやリンゴです。主食は枝葉で、エサの割合で多いのはマメ科の乾草ですが、ニルはシラカシ、アキリはヤマモモの枝葉を好みます。また、春などの季節限定でイタリアンライグラスという青草も与えますが、これも2頭はうれしそうに口にします。

クロサイは直射日光が苦手なので暑い時期は日陰でじっとしていることが多いですが、涼しくなると活動量が増えます。また、視力は良くないですが、嗅覚と聴力に優れています。例えば、静止しているときでも大きな耳をあちこちに向けて警戒を怠りません。そんな細かい動きにも、ぜひ注目してください。

ニルもアキリもクロサイらしく、臆病で神経質です。飼育員が代わると、警戒して距離を取ったり、攻撃的になったりすることもあります。しばらくすると新しい飼育員に慣れて声に反応するようになりますが、それでも一定の距離は保ったままです。ただし、アキリには人懐っこい面もあります。

沿線トピックス

ズーラシア

インフォメーション

よこはま動物園

ズーラシアの動物たち <ヒガシクロサイ>

クロサイは主に木の葉を採食しており、枝をつまみやすい尖った上唇が特徴です。ズーラシアでも主にマメ科の牧草や木の葉を一日約30kg給餌しています。アフリカ大陸に生息するクロサイの中でも東アフリカに生息する亜種がヒガシクロサイです。

1960年代には約10万頭生息していたクロサイですが、角を目当てとした密猟で個体数が激減し、現在は全体で約5,500頭、ヒガシクロサイに限れば1,000頭強しか生息しておらず、絶滅が危惧されています。そんなサイの保護を促進するため、WWF南アフリカが毎年9月22日を「世界サイの日」と制定。ズーラシアでもサイの現状を知ってもらうため特別な掲示やガイドを行っています。



尖った上唇で木の枝をつまむように採食



角は毛が固まったもので薬効はない

イベント情報

ズーラシアフェス!

〔期間〕10月の土曜・日曜・祝日

〔場所〕ころころ広場・ころころロジ

〔内容〕「アフリカのサバンナ」完成10周年を記念して、「アフリカ」をテーマに、雑貨販売やワークショップ、キッチンカーや講演会、パネル展を開催します!



昨年の様子

お土産紹介



<アニマルリウム ヒガシクロサイ> 4,800円

最新の情報は、ズーラシアのウェブサイトをご覧ください。
<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>

※掲載情報は9月9日時点のもので、内容が変更・中止となる場合があります。
最新情報は、ズーラシアのウェブサイトにてご確認ください。



横浜市旭区上白根町1175-1 TEL.045 (959) 1000

開園時間 / 9:30 ~ 16:30 (入園は16:00まで)

休園日 / 火曜 (祝日の場合は開園し、翌日休園) ※10月20日まで無休

▶ 鶴ヶ峰駅または三ツ境駅からバスで約15分



よこはま動物園
ズーラシア

花 と 緑 さんぽ

相鉄線沿線と相互直通運転の乗り入れ先で、植物に親しめるスポットとそこで活動されている方を訪ねました。併せて、周辺の見どころなども紹介します。



県立保土ヶ谷公園

楽しめる植物

11～12月|イチョウ、
2月|ウメ、4月|サクラ 他



星川駅や和田町駅から歩くこと約15分。唯一の神奈川県立運動公園である「県立保土ヶ谷公園」があります。34.7haの敷地内に、硬式野球場をはじめ、さまざまな運動施設を備えている同園。1年を通して折々の植物に親しむことができ、梅園は「かながわの花の名所100選」にも選出されています。公園管理事務所の下羽雅彦さんにお話を伺いました。

「保土ヶ谷公園には約600本のサクラなど、季節の植物がいろいろありますが、秋はやはりイチョウです。和田町駅から歩いてくると、その名も『イチョウ坂』があります。40数本のイチョウが並ぶ、約300mの坂道です。その先の公園沿いの通りにもイチョウ並木が続いていて、時季になると一帯が黄葉に染まります。当園では3つのウォーキングコースを設定していますが、公園全域を巡るコースは1周約4km、所要時間は1時間ほどです。園内に点在している約10カ所の花壇でも季節の花を楽しめますので、さまざまな植物に目を向けながら、ゆったりと公園散策を満喫してください」



ここも、**保土ヶ谷公園**の魅力です。

梅園・梅まつり

「保土ヶ谷公園には、約36品種、約90本のウメが植えられている梅園があり、県内でも有数のウメの名所となっています。また、ウメが見ごろを迎える2月の第3土曜日には、毎年『梅まつり』を開催しています。おはやしや吹奏楽などのステージイベントの他、おしるこや焼きいもなどの模擬店、植物に関する相談窓口などがあり、例年、多くの方でにぎわいます。2026年は2月21日に『梅まつり』を開催予定ですので、ぜひ足を運んでください」（下羽さん）



保土ヶ谷公園フラワーメイト

「園内にある花壇の手入れなどは、15人ほどいるボランティア『保土ヶ谷公園フラワーメイト』の皆さんにご協力いただいています。花壇ボランティアの活動は月2回、第1・第3木曜にそれぞれ2時間ほど花植えや草取り、水やりなどを行っています。来園者の中には花壇の写真を撮ってSNSにアップしてくださる方もいて、そういったことがボランティアの皆さんの励みになっているようです。現在、ボランティアを募集していますので、ぜひ気軽にご応募ください」（下羽さん）



保土ヶ谷公園フラワーメイトの詳細などは、下記までお問い合わせください。

● 保土ヶ谷公園管理事務所
TEL.045(333)5515
<https://www.kanagawa-park.or.jp/hodogaya/>